

下四日市栄造さん
統計で総務大臣表彰



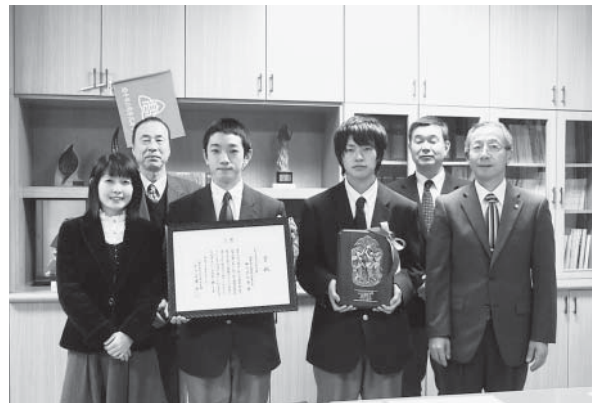
町統計調査員の下四日市栄造さん(81歳、四日市)は長年、統計調査に尽力され、総務大臣表彰を受けました。下四日市さんは昭和33年4月から町統計調査員として、これまで国勢調査など各種統計調査に従事。「地域の皆さんに支えていただいたおかげです」と下四日市さんは感謝しました。

町統計調査員の下四日市栄造さん(81歳、四日市)は長年、統計調査に尽力され、総務大臣表彰を受けました。下四日市さんは昭和33年4月から町統計調査員として、これまで国勢調査など各種統計調査に従事。「地域の皆さんに支えていただいたおかげです」と下四日市さんは感謝しました。

アジア国際子ども映画祭in南あわじ
山形一晃さんと葛巻高校郷土芸能部
東北代表で初参加



タイの中高生と。前列左が山形さん、前列右が郷土芸能部を代表して参加した土谷健さん



葛巻神楽の伝承活動に取り組み葛巻高校郷土芸能部は、本年度のいわてユネスコ文化賞に選ばれ、11月29日葛巻高校で賞状の伝達が行われました。

葛巻高校を訪れた県ユネスコ協会連盟佐々木嘉直事務局長から同部の柳本翔吾さん(3年)と土谷健さん(1年)に賞状と記念品が手渡されました。

柳本さんは「ユネスコ文化賞をいただき、葛巻の文

化を広く伝えてきたことが認められ、うれしく思います。ドイツや三重県で行われた全国高等学校総合文化祭での経験を、これからの社会人としての生活に生かしていきたいと思えます」と喜びました。

ユネスコ文化賞とは、「文化」・「科学」・「国際交流」などを表彰しています。文化部門では文化財の研究や伝統芸能の保存活動などを行い、全国的に優秀な成績というだけでなく、長年の取り組みが重要なポイントです。

今回の葛巻高校郷土芸能部の受賞は、平成21年に三重県で行われた全国高等学校総合文化祭への出場や、昨年8月のドイツ公演など、これまでの葛巻神楽の伝承、普及に取り組んできた活動が評価されたものです。

葛巻高校郷土芸能部
いわてユネスコ文化賞を受賞

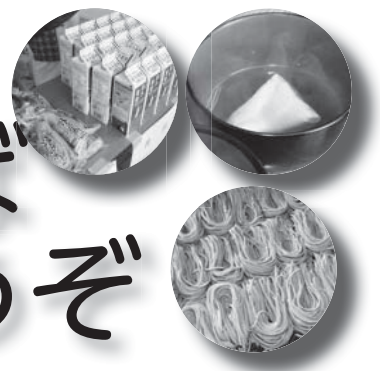
子どもたちによる子どもたちのための映画祭「アジア国際子ども映画祭」が12月3日、兵庫県南あわじ市で開催され、山形一晃さん(葛巻小6年・茶屋場)と葛巻高校郷土芸能部が参加しました。

この映画祭は今年で5回目で、アジアを中心に10の国や地域から子どもたちが参加し、映像を通じて国際交流を深めるもの。南あわじ市は、本町と友好関係にあった南淡町が合併してできた市です。

今回、小学生の部に「バスケットが大好きな町くずまきで最大のおもてなし」と題して山形さんが、夏休みに開催されたミニバスケットの葛巻カップに被災地のチームを招待した様子を編集し出品。また高校生の部には「つながる絆 伝統の舞を世界の舞台へ」と題して葛巻高校郷土芸能部が、ドイツ公演の取り組みをまとめ出品しました。両作品とも東北ブロックで奨励賞を受賞、南あわじ市での映画祭に招待されましたが、惜しくも入選はなりませんでした。



あったかい
手打ちそば
どうぞ



町農業委員会が野田村で支援活動



7月にそばをまいた農業委員の皆さん



農協婦人部の皆さんが前日、そば打ちをしました



橘さんも駆けつけ熱唱しました



笑顔添えて温かいそばを提供しました



明るくおもてなしをした江刈小の皆さん

町農業委員会(鈴木努会長、委員15人)は遊休農地を活用して栽培したそばと、江刈小学校の児童が栽培したそばを12月10日、野田村の総合センター前で振る舞いました。

この日は、朝から厳しい冷え込みでしたが、開始前から長い行列ができるほどの賑わ

いを見せました。鈴木会長は「ささやかですが気持ちを受け取っていただきたい」とあいさつし、午前11時30分から250食分の温かい手打ちそばを提供しました。ほかにもそばがきやおにぎり、タカナシ乳業(株)提供の牛乳、南信漬物(株)提供の野沢菜漬も一

緒に配りました。会場には本町から、農業委員のほかに、江刈小学校の児童と教職員・PTA、女性農業委員のOG、農協婦人部や夢ミルクの会が参加。鈴木重男町長も駆けつけ激励、橘和徳さん(江刈馬淵)のミニコンサートも行われ、手作りの心温

まる被災地支援を行いました。町農業委員会では7月、田の沢地区の遊休農地2反歩を活用し、そばの種をまき「被災地にそばを届けよう」と計画。10月に収穫し、江刈小で収穫したそば粉と合わせて、農協婦人部の皆さんが前日の9日、そばを打ちました。



開始前から長い行列ができました



牛乳や漬物など葛巻の特産品を手渡す江刈小の児童



温かいそばを食べる野田村の方々



会場に駆けつけた小田・野田村長と鈴木町長